

全国大会準優勝の快挙にも悔しさいっぱい

3月22日から25日までの日程で開催された第18回全国高等学校ボクシング選抜大会（宮城県）のバンタム級で準優勝という成績を収めた山口隼人さん（追分高3年）が4月9日、その報告に瀧町長のもとを訪れました。

「日本一になれずうれしくない」と全国大会準優勝の快挙にも悔しさをあらわす山口さんに、瀧町長は「プロになるにはこれからが大変なとき、ケガをしないようにがんばってください」と声をかけました。

これからは、この全国大会での経験をいかし、ポイントを取るための戦い方などを課題に練習していきたいと話していました。



札幌交響楽団の演奏に感動

安平町の合併1周年を記念した「ほくでんファミリーコンサート」が町民センターで開催されました。

メンデルスゾーン作曲の序曲「フィンガルの洞窟」やベートーヴェン作曲の交響曲第5番ハ短調「運命」などアンコールを含め全4曲を演奏した札幌交響楽団。

本格的なオーケストラの演奏に酔いしれ、町内外から集まった満員の会場からは、大きな拍手が贈られました。

操業開始を前に瀧町長がアイシン北海道株式会社へお祝いに

トヨタ系の大手自動車部品メーカーのアイシン精機（愛知県）が、このほど苫東地域に建設したアイシン北海道株式会社の4月23日の操業開始に先立ち、4月20日瀧町長が工場を訪問し、「操業おめでとうございます」と安平町の物産品の一つである雪ダルマ小包を栗原大介社長に手渡しました。

アイシン北海道株式会社では、アルミダイキャストと呼ばれるオートマチックミッションの外側を作るための型を製造しており、生産された製品はアイシン精機、アイシングループのアイシン・エイ・ダブリュ株式会社（愛知県）に卸されます。

この日は、本格的な工場の稼働を前に製品や生産ラインの最終チェックが行われていました。

